

福岡アジア美術館開館25周年スペシャル企画

福岡アジア美術館 ベストコレクション

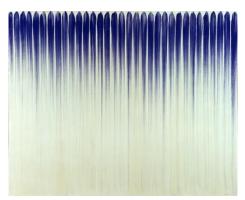
福岡アジア美術館は、2024年3月6日に開館25周年を 迎えます。

それを記念してF a n W e e k (9/16~10/22) にあわせて、アジア美術の「オールスター」というべき10名のアーティストを紹介いたします。彼・彼女たちは、世界で活躍することで母国のアートの評価を国際的に高めたり、自国の先進的なアートシーンをリードしてきたアーティストです。約5,000点のコレクションから選りすぐった10名24点の作品は、いずれもアジアの現代アートの高みを示しています。

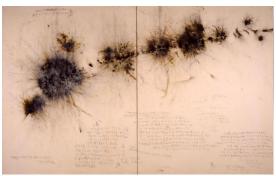
本展が、アジアのアーティストたちの多種多様な作品と皆様との出会いの場となり、新鮮な体験と感動をお届けできることを願っています。

何卒、広報へのご協力をお願い申し上げます。





イ・ウーファン《線より》1977年



ツァイ・グオチャン《私はE.T. 天神と会うためのプロジェクト/ 外星人のためのプロジェクト No.4》 1990年



リン・ティエンミャオ《卵 #3》2001年



ジャン・シャオガン《若い娘としての母と画家》1993年

【会 期】2023年9月14日(木)~2024年4月9日(火)

休館日:毎週水曜日(1月3日、3月20日は開館)

年末年始(12月26日~1月1日)、3月21日

【観覧時間】午前9時30分~午後6時

(金・土曜は午後8時まで。入室は閉室30分前まで)

【会 場】福岡アジア美術館 アジアギャラリー

【観 覧 料】一般200円/高大生150円/中学生以下無料

【主 催】福岡アジア美術館【協力】福岡市文化芸術振興財団

〈問い合わせ先〉

TE: 092-263-1100
Fax: 092-263-1105
学芸課/山口・ラワンチャイクン
yamaguchi@faam.ajibi.jp
toshiko@faam.ajibi.jp

ようこそ アジア現代アートの聖地へ

福岡アジア美術館開館25周年スペシャル企画 Fukuoka Asian Art Museum 25th Anniversary Special Exhibition

アジア美術館初★トップアーティスト勢ぞろい

福岡アジア美術館 ベストコレクション

Fukuoka Asian Art Museum – Best Collection

2023.9.14 黑 — 2024.4.9 煲



福岡アジア美術館

Fukuoka Asian Art Museum Asia Gallery (7F) 〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階

7-8F, Riverain Center Bldg.. 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, Japan Tel: 092-263-1100 Fax: 092-263-1105 https://faam.city.fukuoka.lg.jp

観覧時間:9:30-18:00(金曜・土曜は20:00まで) ※ギャラリー入室は閉室30分前まで 体 館 日:水曜日、12月26日~1月1日及び3月21日(1月3日と3月20日の水曜日は開館

福岡アジア美術館 協力:公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団

Fukuoka Art Next











ナリニ・マラニ《略奪された岸辺》1993年 Nalini Malani, Despoiled Shore, 1993

アジア現代アートのトップアーティストが勢ぞろい

5,000点から10名24点と関連資料を厳選、コレクションのエッセンスを紹介

ダイナミックな作品で新鮮な感動と体験を提供

福岡アジア美術館は、2024年3月6日に開 館25周年を迎えます。世界で初めてアジアの 近現代美術に特化した美術館が、ここ福岡で 産声をあげたのは1999年。その先進的な活 動は、世界の美術界から高い評価と尊敬を集 めてきました。その歴史の長さとコレクショ ンの質の高さを考えたときに、世界でくアジ ア現代アートの聖地>と言えるのは、まさに 福岡アジア美術館をおいてはないでしょう。

それを記念して、アジア美術の「オールス

ター」とでも言うべき10名のアーティストを 紹介します。選んだ10名は、現代に生きるアー ティストであり、世界で活躍することで母国 のアートの評価を国際的に高めたり、自国の 先進的なアートシーンをリードしてきたアー ティストです。

約5,000点のコレクションから選りすぐっ た10名24点の作品は、いずれもアジア現代 アートの高みを示しています。アジアのトッ

プアーティストにフォーカス した本展が、みなさまに新鮮 な体験と感動をお届けできる ことを願っております。



ツァイ・グオチアン(蔡國強) 《天地悠々:外星人のためのプロジェクト No.11》1991年

Immensity of Heaven and Farth: Project for Extraterrestrials No.11

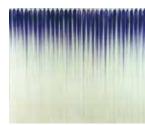


リン・ティエンミャオ(林天苗) 《卵 #3》 2001年

ディン・キュー・レ《南シナ海ピシュクン》 2009年 Dinh Q. Le, South China Sea Pishkun, 2009



ジャン・シャオガン(張暁剛) 《若い娘としての母と画家》1993年 Zhang Xiaogang Painter with Mother as a Young Woman



イ・ウーファン(李禹煥) 《線より》1977年 Lee Ufan, From Line, 1977

ラシード・アライーン 《ティグリス》1992年 Rasheed Araeen, Tigris, 1992

会期中の主なイベント

アートカフェプレミアム

会場:福岡アジア美術館7F アートカフェ

料金:無料(事前申込不要)

主催:(公財)福岡市文化芸術振興財団、福岡市 問合せ: TEL092-263-6265(平日9:30-17:00)

※福岡市民芸術祭プレミアムライブ 黄昏に奏でるアート

日時:9月16日(土)16:00~18:00予定 出演:baobab(バオバブ)、Rue de Valse(ルードバルス)、 Rhythm Society(九州大学軽音楽部ジャズ研究会)



コンドルズが躍動する! FaN Fun Prologue "Dance&Talk"

日時:9月17日(日)15:00開演

出演:コンドルズ(近藤良平、石渕聡、黒須育海)



世界39カ国を熱狂させた 言葉を使わないコメディパフォーマンス

[市営地下鉄] 中洲川端駅 [6番出口] [西鉄バス]

川端町・博多座前

日時: 10月15日(日)14:00開演 出演:ケッチ(元「が~まるちょば」)



※福岡市民芸術祭記念事業創作作品映像化お披露目 コンドルズと創る!踊る!魅せる! FaN Fun Epilogue + ゴスペルライブ

日時:12月23日(土)15:00開演(予定) 映像出演:コンドルズ(近藤良平、石渕聡、

黒須育海)&ワークショップ参加者

出演:寒竹麻衣子(福岡音楽都市協議会理事・ 日本ゴスペル音楽協会理事)ほか



福岡アジア美術館

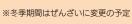
〒812-0027 福岡市博多区下川端町 3-1 リバレインセンタービル 7・8 階

7.8F, Riverain Center Bldg., 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, Japan Tel: 092-263-1100 Fax: 092-263-1105 https://faam.city.fukuoka.lg.jp

IENA COFFEE

展覧会特別メニュー「ミラクルパフェー

万物を表す五行の色を取り込み、 目と舌で流れるエネルギーバランスを整える!ミラクルパフェ





「車」 太宰府方面から 都市高速千代ランプより7分 北九州方面から 都市高速呉服町ランプより5分 *リバレイン地下駐車場(有料)へは

市営地下鉄 貝塚線 都市高速1号線 アジア美術館 市営地下鉄空港網 City Subway 昭和通りの中央分離帯からお入りください。



ART FAIR ASIA FUKUOKA開催中(9月22日~24日)、 同フェアのチケット提示で本展の観覧が無料になります